いずみ会／旧都立大泉中学校・都立大泉高等学校同窓会

会報いずみ 第49号

発行／いずみ会　編集／いずみ会広報部
〒178-0063 東京都練馬区東大泉 5-3-1 都立大泉高等学校内
事務所　東京都練馬区東大泉 6-34-30 SKビル305号
ホームページ　http://www.izumikai.net　Eメール　izumikai@v7.com

主な記事

2～5 執行部関係
6 母校関係
7 恩師近況
8 緑蔭
9～11 同期会・OBOG会関係
12 お知らせ

いずみ会60周年記念行事について

60周年記念事業実行委員会事務局長　村上　広（高15期）

近年母校の外観は大幅に変わりました。西武線の車内から見ても、校庭の周囲には金網が巡らされており、校舎も立派な外観の建物になり、なんか近寄りがたく感じられます。

２年ほど前の事ですが、土曜日に学校を訪問したことがありました。テニスコートでは生徒が元気に部活で汗を流しており、校舎はひっそりと静かな雰囲気に包まれていました。ところがです、ベルが鳴ると校舎のあちこちからざわめきが聞こえてくるではないですか。私はてっきり土曜日はお休みだと思っていたのですが、当日は授業があり、訪問した時は授業の最中だったのですね。大泉高校は皆きちんと授業を受けているのですねえ。安心しました。廊下で生徒さんとすれ違うときも、会釈したり挨拶をしてくれたり、質問をしてもきちんと応対してくれたりで、さすがわが母校だと感じました。卒業生の欲目かもしれませんが、“大泉の伝統は生きている”と実感したのでした。

しかし、ここにきて「中高一貫教育」の制度改革が計画されています。詳細はこれから決まるのでしょうが、卒業生の立場からは気になるところです。

◇◇◇

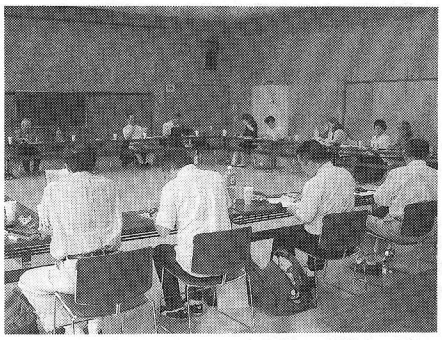
さて、60周年記念の事業ですが、
- 記念式典／祝賀会の開催
- 60周年記念名簿の発行
- 将来へ向けての運営体制の充実

の３部構成になっています。

◇◇◇

記念式典／祝賀会は11月26日に開催されます。式典は13時半から開催を予定していますが、その前に吹奏楽部のＯＢＯＧと生徒との記念合同演奏会を予定しています。この演奏は前回（学校60周年等）も好評でしたので、今回もその演奏を楽しんで貰おうという趣向です。

式典の後には懇親会が開かれますので、同期の友人やクラブ活動を共にした仲間と語らうのも楽しいことと思います。記念式典／祝賀会の準備につきましては月１回の委員会と各期の委員を交えた拡大委員会（全体会議）を４回開催し、皆様のご意見を反映するように活動しています。議論の内容はいずみ会のホームページhttp://www.izumikai.netに掲載していますのでご覧ください。



◇◇◇

名簿は来年の２月に発行すべく準備が進行中です。個人情報保護法が施行されましたので、名簿のあり方を議論し、本人の申し出により、住所などを非掲載にするなどの対応を行うこととなりました。名簿はデータの形で欲しいとのご意見もありますが、提供の是非やその方法などは今後の検討課題となるものと思われます。

◇◇◇

将来へ向けての運営態勢の充実については60周年を機に、同窓生相互間、あるいは同窓生と在校生とのコミュニケーションをより活発化するような施策を検討中です。たとえば、在校生のクラブ活動に補助するとか、各分野で活躍中の同窓生との懇談会の開催なども考えられます。また、同窓生に関しては幾つかのアイデアがありますが、決まり次第、いずみ会のホームページで公表されるでしょう。

◇◇◇

いずみ会は人間でいうところの還暦を迎えました。会員の数も22,000名を超えています。同窓生同士、あるいは在校生と同窓生の交流をより深めたいと思います。数多くの同窓生のご参加をお待ち申し上げます。

60周年記念事業

昨年の、いずみ会総会への出欠の回答に併せて、いずみ会の60周年を記念してどんなことをやったらよいか会員の皆様に伺いました。そのほかいろんな機会に、いずみ会の事業として実施するようにと多くのご意見が寄せられております。理事会では大場副会長を中心に、60周年を契機に取り組む事業として、実現可能なものから具体化するよう、次のような事業を中心に検討を進めています。

- **仮称「人材バンク」の作成**
  会報同封のチラシに詳細が説明されています。多くの会員の方の協力により、その力が活かされることを願っています。
- **同期会開催の期への援助**
  具体的な内容については検討中です。
- **各期・クラブ・部会の活動のＰＲや報告**
  現在も実施している、会報・ホームページを利用してのＰＲや報告を一層積極的に進める。
- **会員からの相談に対応**
  会員からの相談を受け、相談に応じられる専門家を、人材バンクに登録された方を中心に紹介する。
- **ＰＴＡとの連携強化**
  ＰＴＡとの意見交換、主催事業への協力などを進める。
- **恩師情報の整備**
  恩師の現況を収集・整理し、各期の同期会などに資料として提供する。
- **メールアドレス収集キャンペーン**
  会員のメールアドレスの収集を進める。
- **いずみ会室の充実**
  将来、常設の事務所として利用可能な事務所の開設を検討する。
- **いずみ会関係資料の収集・保管**
  いずみ会に関する古い資料を収集・整理し保存を図る、またこの保存用の書庫なども併せて検討する。広く会員に協力を求め会員手持ちの資料の提出を仰ぐ。

本年度
いずみ会総会・懇親会（60周年記念）
11月26日(土)　午後１時30分より　母校にて開催（同封のご案内をご覧ください。）

本年度 幹事総会報告

平成17年5月28日(土)午後1時より母校会議室において定期幹事総会が開催されました。司会の大場副会長（高16期）の進行により、会長挨拶、藤井校長挨拶のあと、議長に大久保氏（高29期）が選出され、引き続き議事録署名人（西多氏・高6期、富田氏・高11期）が選任されて議事に入りました。

まず、「平成16年度事業報告及び収支決算承認の件」について理事会より報告があり、とくに長年の課題であった会計制度の改正については、平成16年度より複式簿記を採用して貸借対照表を明示することにより、いずみ会の資産内容が明確に把握されたことなど詳しく報告されました。続いて桜井監査役（高2期）から決算報告書、事業報告書ともに適正な内容であり、理事の職務執行に関する不正行為又は法令もしくはいずみ会規約に違反する重大な事実はなかった旨の報告がなされました。その後、熱心な質疑応答のあと、本議案は拍手をもって承認されました。

次いで、「平成17年度事業計画及び予算案承認の件」について理事会から説明がありました。平成17年度は、通常の事業活動に加え、いずみ会創立60周年記念事業や規約改正の検討、役員改選の準備などの事業計画が盛り込まれ、また予算面でも一般会計の他、「60周年記念事業特別会計予算」と「60周年記念名簿特別会計予算」の2つの特別会計予算が組まれていることが説明されました。

これに対して出席幹事から予算案の数値の記入ミスが指摘されるなど活発な質疑、意見等が続いた後、ミスについては修正した上で正式予算とすることが議長提案され、拍手多数をもって本議案も承認されました。

続いて、「いずみ会規約等一部改正の件」について理事会より提案がありました。内容は、従来「幹事」と称していたものを「評議員」に変更するもので、これも拍手多数をもって承認されました（4面関連記事をご覧ください）。

最後に、母校の中高一貫校化について、出席幹事より同窓会としても「望ましい一貫校」に向けた積極的な関与を求める意見が出され、この問題に対する同窓生の関心の高さが伺われました。

ここで、予定時刻を大幅に超過したため議事を終了し、引き続き行われた懇親会の席上で、60周年記念式典への参加呼びかけや、「60周年記念名簿」作成にあたっての個人情報取扱い方針（4面関連記事をご覧ください）などの説明があり、5時30分、和やかな中に総会は閉会となりました。

（4面に幹事総会出席者一覧）

平成16年度 事業報告

いずみ会は、規約及び平成16年度事業計画に沿って、次の事業を行いました。

第1．総会の開催

平成16年10月31日(土) 母校の視聴覚室および大会議室にて開催しました。
前半は、理事会による進行で、平成15年度のいずみ会の活動報告と、来年度に予定される、60周年記念事業への取り組み姿勢等が報告されました。
後半の懇親会は、「4の会」による、“4でよんで、呼び合って”行こうよ 母校大泉!!のテーマの下、大勢の「ヨン様」が出席者のおもてなしをし、会場を盛り上げました。(参加者数206名)

第2．会報の発行

1．会報いずみ第48号を平成16年10月1日に発行しました。主な記事は次の通りです。
- いずみ会60周年記念事業
- いずみ会新役員紹介
- いずみ会事業計画と幹事総会（平成16年度）、総会（平成15年度）等の活動報告
- 母校関連
- 恩師近況
- 会員、OBOG会情報

2．ホームページの充実については、新しい情報が次々に掲載され、アクセス数が増加しました。また、ホームページの改造にも取り組みました。

第3．会員情報の整備

1．会員情報の精度向上に向け、各期の会員情報部幹事を集めての幹事会を、平成16年7月31日(35名参加)、平成17年2月19日(43名参加)の2回実施し、7月以降毎月1回の幹部会を実施しました。
2．60周年記念名簿の仕様・体裁を決定し、会報にて広報を開始しました。
3．60周年記念名簿発行に向け、住所不明者の積極的な捜査活動を開始しました。そのために高校15期以降の各期に対して会報に住所不明者リストを同封しました。

第4．母校との連絡

1．平成16年9月18・19日母校文化祭に参加し、「いずみの広場」において「いずみ会文庫」を紹介し在校生並びに保護者等との交流をはかりました。
2．平成16年11月30日、新卒業生の入会金を学校でまとめてもらうよう、母校校長、副校長、事務長と懇談しましたが、東京都の指導が厳しく、現時点では無理との事で、母校、PTAの協力のもと、本会が作業する事としました。
3．平成17年3月14日の卒業式予行日に、いずみ会入会式を開催しました。

第5．会財政管理

1．郵便貯金限度問題を解消させました。
2．郵便貯金の利息収入を正規に収受しました。
3．預入預金口座を分散させました。(ペイオフ関連)
4．別途積立金を新設しました。(財政基盤の強化)
5．新入会員の入会金の取り扱いは、母校・PTAの協力のもとで、いずみ会が行う事としました。

第6．いずみ会の60周年事業

1．60周年記念事業実行委員会（委員長 青山副会長）を立ち上げました。
2．平成17年11月26日(土)母校体育館などで、記念式典、祝賀会を開催する事としました。

第7．規約に関しての検討

幹事・幹事総会の名称、幹事の員数と選出方法、役員の辞任と補充等について規約改正を検討しました。

第8．会計に関しての検討

1．貸借対照表の作成により、会計全体の透明性を確保できました。
2．会計ソフトの導入と複式簿記の導入を行いました。
3．会費等の前受金の正確化をはかりました。
4．前受金の戻入年次の正常化をはかりました。

第9．その他の事業

1．定時幹事総会を平成16年5月29日(土)に開催、幹事93名が出席して、「平成15年度事業報告・決算、平成16年度事業計画・予算案」が承認され、続いて役員改選が審議され、候補者全員が承認されました。
2．理事会の開催（10回開催）
3．監査会の開催（11月13日、5月10日の2回開催）
4．各期幹事の登録更新

平成17年度 事業計画

スローガン

『いずみ会60周年を祝い、全会員で記念行事を楽しもう!』

いずみ会は、規約に沿って、平成17年度に次の事業を実施します。

第1 いずみ会60周年記念式典と総会の開催

1．平成17年度はいずみ会創立60周年の節目の年であり、総会を含む記念式典と懇親会を母校都立大泉高校内にて、11月26日(土)に開催します。
2．いずみ会60周年記念事業は「60周年記念事業実行委員会」並びに「5の会」が企画・運営のうえ、とり行います。

第2 会報の発行・広報活動の充実

1．会報いずみ第49号を平成17年10月1日に発行します。主な記事は次の通りです。
- いずみ会60周年記念事業について
- 平成16年度事業・会計報告と平成17年度事業計画・予算
- 平成16年度いずみ会行事報告
- 会員情報（同期会情報等）
- 役員改選の公示
- 母校関連情報

2．ホームページの充実

第3 名簿の発行と会員情報の整備

1．いずみ会60周年記念名簿を平成18年1月に発行します。
2．会員情報の精度向上と整備を継続実施します。
3．「高校58期」の情報も取り入れた名簿を作成します。

第4 将来に向けての運営体制の拡充

1．会員相互の交流の活発化
2．会運営のIT化推進

第5 母校との連携

1．平成18年3月13日(月)予定の卒業式予行日に、いずみ会入会式を開催します。
2．平成17年9月18日(日)～19日(月)予定の母校文化祭に参加し、「いずみの広場」において「いずみ会文庫」を紹介すると共に在校生並びに保護者との交流をはかります。
3．母校教職員、PTA等の関係者との交流会を開催し、母校との緊密化をはかります。
4．新入会員の加入に際し協力を求めます。

第6 規約改正に向けての検討

平成16年度に引き続き規約改正委員会で規約に関する検討を行います。

第7 会財政管理

1．会の会計制度の定着化と適切な執行
2．会費納入率の向上推進

第8 幹事総会の開催

いずみ会の最高決議機関である幹事総会を平成17年5月28日(土)母校にて開催します。

第9 その他の事業

1．理事会の開催
2．監査会の開催
3．各期幹事の登録更新作業
4．役員改選に向けての準備作業
5．いずみ会活性化に向けて、若手幹事の参加呼び掛け
6．事務の効率化と事務局体制の見直し

平成16年度　収支決算

平成16年度　収支決算

（自平成16年4月1日～至平成17年3月31日）

（収入の部）　単位：円

科目	予算(A)	実績(B)	差引(B－A)	備考
入会金	1,000,000	950,000	△ 50,000	
前受金戻入	825,000	825,000	0	
当期入金分	175,000	125,000	△ 50,000	
会費	3,889,000	3,003,000	△ 886,000	
前受金戻入	3,089,000	2,435,000	△ 654,000	
当期入金分	800,000	568,000	△ 232,000	
寄付金	1,636,988	2,132,900	495,912	
前受金戻入	762,900	762,900	0	
当期入金分	874,088	1,370,000	495,912	
総会参加費	375,000	502,000	127,000	
2000年名簿売上	10,000	9,500	△ 500	
前受金	0	4,227,000	4,227,000	
入会金	0	1,115,000	1,115,000	
会費	0	2,638,000	2,638,000	
60周年記念名簿予約金	0	474,000	474,000	
雑収入	50,000	2,283,948	2,233,948	
利息		2,278,743	2,278,743	
雑収入	50,000	5,205	△ 44,795	
前期損益修正		3,461,406	3,461,406	注
当期収入合計	6,960,988	16,569,754	9,608,766	

注：前年度末前受金を洗いなおした結果、平成15年度に戻入れるべき前受金費3,089,000円及び当該戻入れ後前受金の本来あるべき残高の超過額（過年度戻入時誤差の累計と推定）の戻入額372,406円の合計額である。

（支出の部）

科目	予算(A)	実績(B)	差引(A－B)	備考
事業費				
総会関連費（10）	505,000	424,927	80,073	
11．開催費	375,000	338,636	36,364	
12．準備費	130,000	86,291	43,709	
役員・幹事会合費（20）	450,000	327,980	122,020	
21．幹事総会開催費	250,000	209,105	40,895	
22．理事会・委員会費	100,000	73,488	26,512	
23．総務・企画部活動費	100,000	45,387	54,613	
監査役会費（30）	20,000	8,327	11,673	
広報費（40）	2,850,000	2,447,184	402,816	
41．会報印刷費	700,000	580,600	119,400	注2
42．会報発送関連費	2,000,000	1,811,242	188,758	注2
43．ホームページ関連費	100,000	45,047	54,953	
44．広報部活動費	50,000	10,295	39,705	
会費関連費（50）	114,790	108,570	6,220	
51．口座振替手数料	54,790	77,800	△ 23,010	注1
52．会計部活動費	60,000	30,770	29,230	
名簿関連費（60）	290,000	192,367	97,633	注3
62．新入会員名簿作成費	70,000	25,050	44,950	
63．会員情報部活動費	220,000	167,317	52,683	
母校連絡費（70）	150,000	54,341	95,659	
会員活性費（80）	20,000	15,100	4,900	
消耗品作成費（90）	270,000	381,182	△ 111,182	注2
91．封筒作成費	150,000	245,732	△ 95,732	
92．振込用紙作成費	120,000	135,450	△ 15,450	
設備・什器・備品費（100）	361,450	290,820	70,630	
101．ハード（パソコン関連）	260,000	194,060	65,940	
102．ソフト（パソコン関連）	50,000	45,310	4,690	
103．リース関連費	51,450	51,450	0	
雑費（200）	50,000	5,620	44,380	
いずみ会室関連費（400）	1,000,000	660,581	339,419	
業務委託費（500）	100,000	0	100,000	
60周年関連準備費（600）	300,000	118,286	181,714	
予備費（300）	100,000	0	100,000	
小計	6,581,240	5,035,285	1,545,955	
積立金繰入				
61．名簿積立金	200,000	201,523	△ 1,523	
前受入会費	0	1,115,000	△ 1,115,000	
前受会費	0	2,638,000	△ 2,638,000	
名簿予約金	0	474,000	△ 474,000	
合計	6,781,240	9,463,808	△ 2,682,568	

注1：予算は前年度分。制度を改め当年度分計上方式とした。
注2：印刷費、発送費を含む会報関係全体では、196,976円の黒字である。（理事会承認事項）
注3：「積立金繰入」の科目を新設した関係上「事業費」を設けた。そのため［61］名簿積立金は「事業費」でないので「積立金繰入」に移すとともに、［60］「名簿積立金」を「名簿関連費」と変更した。

（収支の部）

項目	予算(A)	実績(B)
当期収入合計	6,960,988	16,569,754
当期支出合計	6,781,240	9,463,808
当期収支残	179,748	7,105,946
前期繰越金	11,121,277	11,121,277
計	11,301,025	18,227,223
別途積立金積立	0	15,000,000
次期繰越金	11,301,025	3,227,223

貸借対照表

平成17年3月31日現在

（資産）

科目	2004.3.31現在	2005.3.31現在
定期預金	25,147,793	27,626,392
普通預金	7,461,755	3,282,515
振替口座	0	5,647,630
現金	94,828	198,002
合計	32,704,376	36,754,539

（負債）

科目	2004.3.31現在	2005.3.31現在
入会金前受金	18,236,306	1,115,000
会費前受金		13,390,000
名簿予約金		474,000
負債合計	18,236,306	14,979,000
正味財産		
名簿積立金	3,346,793	3,548,316
別途積立金		15,000,000
次期繰越金	11,121,277	3,227,223
正味財産計	14,468,070	21,775,539
合計	32,704,376	36,754,539

注：1．2004.3.31現在の入会金前受金（18,236,306）は会費、入会金、寄付金の合計。（今期はこの内訳を洗い直し、前期損益修正を通して本来のあるべき残高に訂正）　2．なお、備品として、パソコンを4台、プリンターを1台所有している。

平成17年度　収支予算

平成17年度　収支予算

（収入の部）　単位：円

科目	予算	前年度予算	前年度実績	予算比較	備考
入会金	1,215,000	1,000,000	950,000	215,000	
前受金戻入	1,115,000	—	825,000	—	
当期入金分	100,000	—	125,000	—	
会費	3,100,000	3,889,000	3,003,000	△ 789,000	戻入額の大幅減少
前受金戻入	2,460,000	—	2,435,000	—	
当期入金分	640,000	—	568,000	—	
寄付金	1,400,000	1,636,988	2,132,900	△ 236,988	当年度から寄付金の前受処理は廃止
前受金戻入	—	—	762,900	—	
当期入金分	1,400,000	—	1,370,000	—	
総会参加費	1,750,000	375,000	502,000	1,375,000	
2000年名簿売上金	—	10,000	9,500	△ 10,000	今年度は廃止
60周年記念名簿関係収入	5,742,316	—	—	5,742,316	
名簿売上	720,000	—	—	—	2005年4月1日～～2005年3月31日前回発行以降分
名簿予約金戻入	474,000	—	—	—	
名簿積立金戻入	3,548,316	—	—	—	
広告売上	1,000,000	—	—	—	
前受金	3,800,000	—	4,227,000	3,800,000	
入会金	1,000,000	—	1,115,000	—	
会費	2,800,000	—	2,638,000	—	
名簿予約金	—	—	474,000	—	今年度は廃止
雑収入	10,000	50,000	2,283,948	△ 40,000	
前期繰越金	3,227,223	11,121,277	11,121,277	△ 7,894,054	
前期損益修正	—	—	3,461,406	0	
当期収入合計	20,244,539	18,082,265	27,691,031	2,162,274	

（支出の部）　単位：円

科目	予算	前年度予算	前年度実績	予算比較	備考
事業費					
総会関連費 10	—	505,000	424,927	△ 505,000	60周年記念事業特別会計へ
開催費 11	—	375,000	338,636	△ 375,000	
準備費 12	—	130,000	86,291	△ 130,000	
役員・幹事会合費 20	450,000	450,000	327,980	0	
幹事総会開催費 21	250,000	250,000	209,105	0	
理事会・委員会費 22	100,000	100,000	73,488	0	
総務・企画部活動費 23	100,000	100,000	45,387	0	
監査役会費 30	20,000	20,000	8,327	0	
広報費 40	3,600,000	3,120,000	2,798,934	480,000	
会報印刷関連費 41	800,000	700,000	580,600	100,000	
会報発送関連費 42	2,300,000	2,000,000	1,811,242	300,000	
封筒作成費 43	230,000	150,000	216,300	80,000	
振込用紙印刷費等 44	150,000	120,000	135,450	30,000	
ホームページ関連費 45	70,000	100,000	45,047	△ 30,000	
広報部活動費 46	50,000	50,000	10,295	0	
会費関連経費 50	160,000	114,790	108,570	45,210	
口座振替手数料 51	100,000	54,790	77,800	45,210	振替件数増加
会計部活動費 52	60,000	60,000	30,770	0	
名簿関連費 60	290,000	290,000	192,367	0	
新入会員名簿作成費 61	70,000	70,000	25,050	0	
会員情報部活動費 62	220,000	220,000	167,317	0	
母校連絡費 70	100,000	150,000	54,341	△ 50,000	
会員活性費 80	20,000	20,000	15,100	0	
消耗品作成費 90	50,000	—	29,432	50,000	広報費と分離
設備・什器・備品費 100	200,000	361,450	290,820	△ 161,450	
ハード（パソコン関連） 101	150,000	260,000	194,060	△ 110,000	
ソフト（〃） 102	50,000	50,000	45,310	0	
リース関連費 103	—	51,450	51,450	△ 51,450	リース満了
いずみ会室関連費 110	1,000,000	1,000,000	660,581	0	
業務委託費 120	300,000	100,000	0	200,000	
雑費 130	50,000	50,000	5,620	0	
60周年関連準備費 200	—	300,000	118,286	△ 300,000	
60周年記念事業特別会計繰入 300	3,250,000	—	—	3,250,000	特別会計予算参照
60周年記念名簿特別会計繰入 400	5,942,316	—	—	5,942,316	特別会計予算参照
予備費 140	100,000	100,000	0	0	
小計	15,532,316	6,581,240	5,035,285	8,951,076	
前受金積立繰入					
前受入会金積立繰入 500	1,000,000	—	1,115,000	1,000,000	前年予算計上せず
前受会費積立繰入 600	2,800,000	—	2,638,000	2,800,000	前年予算計上せず
名簿積立金 700	—	200,000	201,523	△ 200,000	
60周年記念名簿前受積立繰入 800	—	—	474,000	0	
合計	19,332,316	6,781,240	9,463,808	12,551,076	

（収支の部）

	予算	前年度予算	前年度実績	予算比較
収入	20,244,539	18,082,265	27,691,031	2,162,274
支出	19,332,316	6,781,240	9,463,808	12,551,076
残	912,223	11,301,025	18,227,223	△ 10,388,802

いずみ会60周年記念事業特別会計収支予算（平成17年度）

（収入）

科目	金額
一般会計より	3,250,000
会員参加費	1,750,000
60周年（母校）協賛費残相当額	930,000
前年度総会費残相当額	170,000
一般会計より	400,000
合計	3,250,000

（支出）

科目	金額	備考
会場費	250,000	机・椅子のリース等
準備費	300,000	郵便・印刷等
記録・広告費	135,000	写真・プリント
懇親会食料費	1,400,000	料理・飲物
懇親会雑費	500,000	テーブル廻り・給仕
記念事業費諸経費	300,000	
予備費	365,000	
合計	3,250,000	

いずみ会60周年記念名簿特別会計収支予算（平成17年度）

（収入）

科目	金額
一般会計より	5,942,316
名簿積立金戻入	3,548,316
名簿前受金戻入等	1,194,000
広告費売上	1,000,000
一般会計より	200,000
合計	5,942,316

（支出）

科目	金額	備考
会議費	50,000	支出：理事会基準
販売促進費	100,000	会報同封ちらし等
広告募集費	50,000	通信費・コピー代
データ調査費	280,000	不明者調査
データ加工費	50,000	ソフト購入
広告製作費	400,000	@2万円　外部委託
記事作成費	50,000	写真代・通信費
印刷費	3,800,000	
運搬費	50,000	製本所→母校
発送費	367,500	@525×400部
雑費	100,000	
広告料請求関係費	10,000	印紙・通信費
予備費	634,816	会報戻りはがきなど
合計	5,942,316	

いずみ会60周年を迎えて

会長 石井岱三（高6期）

現在の都立大泉高校は、かつては東京府立第20中学校と称し、中野区鷺宮5丁目に仮校舎で昭和16年2月3日に設立されました。東京府が都に変更になり昭和18年7月に都立大泉中学校となりました。同年3月には現在地に移転をしています。

学校の特色としては敷地面積(13,000坪)が広いことで、これをみて初代の校長・室岡先生は「体育と学問」を両立させることを考えたという記録がありました。その裏付けとしては、校友の歌が昭和22年に創作され、その歌の中に読まれています。「自主創造の大理想」と「師友手をとり日に学ぶ」というセンテンスの中で表現をしていることで証明しているといえるのです。

終戦後、新教育制度が昭和23年に施行となり、同時に現在の都立大泉高等学校という名称に変わりました。

同様、いずみ会の歴史をみますと、いずみ会は同窓会として昭和20年4月に発足しています。初代のいずみ会長は名倉光雄氏であり、戦時中であったため、また以後戦後の混乱期が続いたため、会を開くことができなかったと、記録の中に記してありました。

60年という歳月が過ぎ、今日に至るまで、学校にもいずみ会にもそれなりの歴史があったことが考えられます。私がいずみ会長をお引き受けして4年になりますが、目の前のことに追われて、ゆっくりと歴史や経緯を熟慮する時間がなかったことを反省しております。

今ではいずみ会も足腰が強くなり、組織強化によって各部の活動も盛んになってきました。今後の同窓会活動も盛会になることを期待しています。会員数も2万数千人となり、皆社会や学校で自主創造の大理想を持って活躍しているのです。

平成17年11月26日には、いずみ会創立60周年記念式典を開催することになります。是非ご参加下さい。都立大泉高校も平成22年度には、中・高一貫校に変わります。このことについても多くの会員からご意見をいただき、伝統もその中に含めていくことが大切であると考えています。学校といずみ会が一体となって、中・高一貫校へ移行の検討をする必要性があると思い、学校側に要望することが急務であると考えています。会員の皆様と共に支えあって伝統あるいずみ会を力強い会にしていくため、皆様のご指導、ならびにご協力をお願い致します。

◇ ◇

「幹事」は「評議員」と名称変更

いずみ会の最高議決機関は「幹事総会」と呼ばれ、その構成員は「幹事」と呼ばれておりました。これは幹事の中から会長が理事を任命していた時代からの名残なのですが、一般的用語例と異なっていることが指摘されておりました。また業務執行の補佐者である「事務局幹事」や会員情報幹事と紛らわしいとの声もありました。そこで重要事項を議決する最高議決機関の名称を「評議員会」とし、その構成員として各期の会員から選出され、2万人の会員を代表する方々の名称を「評議員」とする旨の「規約等一部改正の件」が平成17年度定時幹事総会に提案され、議決・承認されました。

審議の経緯については「本年度幹事総会報告」（2面）を、改正後の規約等（いずみ会規約といずみ会役員選挙規則のことです）についてはホームページをご参照ください。

60周年記念名簿発行と個人情報の保護について

会員情報部

いずみ会創立60周年記念事業の一環として、会員情報部では平成18年2月を目途に「2005年会員名簿」を発行すべく、現在準備を進めています。会員名簿は会員相互の緊密な連絡を可能にするとともに、いずみ会発展のためのツールとして重要と考えております。

一方、ご承知の通り、平成17年4月に個人情報保護法が施行されました。いずみ会としても、個人情報の有用性に配慮しつつ個人の権利利益を保護するという今回の法律の趣旨を十分にふまえて、新名簿発行にあたっては以下のように対処します。

(1)名簿配布は会員と新卒業生のみとし、第三者には販売配布しない。

(2)名簿記載項目は、氏名・住所・電話番号のみとする。

(3)会員全員に10月発行予定の会報に返信ハガキを同封し、掲載項目の希望確認をする。確認項目としては、①氏名・住所・電話、②氏名・住所、③氏名のみ、の3種類のパターンから選択していただく。
返信ハガキに記載なし、または未回答者については①の掲載とする。

(4)いずみ会が保有する会員情報については、データ管理の一元化に向けて検討をすすめ、情報漏洩等の事故防止に万全の対策を立てる。

以上の方針にもとづき、記念名簿の発行と会員情報の保護をすすめる所存ですので、会員諸氏のご理解とご協力をお願い申し上げます。

来年は役員改選です

現在の役員は、平成17年度をもって任期満了となります。

役員（任期2年）はいずみ会発展のため、理事会等の会合に出席し、事業を検討し、実行します。

現在、各期から選出された評議員（旧幹事）をされている方、同期からの推薦を受けている方が望ましく、また若い期の方からの立候補・推薦をよろしくお願いします。選挙要綱は次の通りです。

1．次期いずみ会役員の選任は来年度定時評議員会（平成18年5・6月中）において行います。

2．各役員選挙に対する立候補届並びに推薦届の受付期間は、平成17年10月1日から平成18年1月31日迄です。

3．立候補届・推薦届は、下記の事項を明記し、いずみ会選挙管理事務局に郵送して下さい（記載漏れがあると、無効となることがあります）。

4．届けの受理確認は、平成18年2月中にご連絡します。

5．郵送先

〒100-0006
千代田区有楽町1-7-1有楽町電気ビル南館9階952号室 高津法律事務所内いずみ会選挙管理事務局

記

届出に明記する事項

①立候補または推薦する役職名（会長、副会長、理事、監査役）

②立候補者または推薦者ご本人の氏名・期・住所・電話番号（あればメールアドレス）

③推薦届の場合は推薦人の氏名・期・住所・電話番号（あればメールアドレス）

④立候補または推薦の理由（200字以内）

定時幹事総会出席者一覧

（平成17年5月28日開催）

出席幹事 110名 一般会員 5名

（幹事）

中学01期：猪俣麒一郎、大和田啓三朗、春日孟、永川俊彦、高校02期：桜井宏、稲村啓、高橋宏、武見健三、綿貫哲夫、高校03期：長谷川浩吉、仙田暘一、高校04期：新井秀幸、加羽澤暉幸、橋本宏、高校05期：青山喜彦、大沢登、桶田敏正、久我豁、嶋正彦、滝澤宏夫、松岡五郎、高校06期：有田二郎、石井岱三、井上暉夫、今村邦夫、篠匡昭、杉山肇、西多英治、村井和郎、村上昇、神田計子、舛巴淳子、岡田昭子、高取都、高校07期：岡野朝子、会田かおり、高校08期：新井正晴、堤美穂子、小熊坂満邦、高校09期：須藤一彦、高木博明、斉藤正一、山下嗣男、高校10期：羽根田千賀子、保延義夫、野口悦子、田島寛、藤田肇、小川皓司、関口昌子、羽根田達治、廣川和男、鈴木京子、前川禎男、神田俊夫、高校11期：加藤多鶴子、広瀬芳子、真田宗興、富田順子、高校12期：相川光夫、板橋昭寿、高校13期：山本章義、田中昇次、豊田壱美、小松富貴子、国澤栄子、大高光蔵、渡辺昌克、高津幸一、戸田一誠、高校14期：増岡建吾、三原寿太郎、浦田佐恵子、高校15期：石川文武、仙沢龍雄、村上広、速水洋志、久保田繁、山口八重子、高校16期：橋元宏、鈴木哲、大場修一、高校18期：杉山明美、安斉秀行、高校19期：三原千砂子、若月伸一、高校20期：菊池素子、土肥暁美、金子研一、宮本正信、高校21期：吉田佐由美、高校22期：肥沼年光、花澤亮司、高校24期：真柳仁、山川新、高校25期：谷口俊三、會田幸子、高校27期：飯田良弘、宇野伸一、高校28期：野島陽子、西澤正博、高校29期：田中宏尚、大久保靖、杉山正樹、斎藤俊夫、高校31期：原秀年、高瀬浩和、高校52期：渡邉太地、高校56期：加藤久仁明、小谷由美子

（一般会員）

高校04期：比嘉高、高校05期：矢吹常久、高校24期：成富優子、高校43期：石井塁、高校52期：吉田周史

平成16年度 いずみ会総会報告

10月31日(日)、母校大泉高校2号棟3階「視聴覚室」において、平成16年度いずみ会総会が開催されました。

天気予報で心配された雨も、朝方には上がり、4の会の活躍で正午には受付の準備も整い、受付デスクがセットされた正面玄関ホールでは、会員同士が「やあ！」「久しぶりだね！」と、早くも和気藹々の声が響きました。

出席者の出足も好調、定刻には会場は満席となり、壇上には役員が並び、藤井校長先生を来賓にお迎えして開会となりました。

高校6期の松本理事の司会進行で、最初にいずみ会石井会長（高6期）の挨拶があり、5月の幹事総会で会長（2期目）を引き受け、昨年開設した「いずみ会室」を拠点として会の活動を更に活発化し、来年のいずみ会創立60周年の記念事業へ向けて努力していきたいとの話がありました。

続いて、最高顧問の藤井校長先生から、大泉高校の近況についてお話がありました。

3番目に、配布されたいずみ会報(48号)を資料として、有田事務局長（高6期）から平成15年度いずみ会の事業報告及び会計報告があり、ホームページについて拡充が進んでいるとのコメントがありました。

最後に、いずみ会60周年記念事業計画について、記念事業実行委員長の青山副会長(高5期）から、来年へ向けて「5の会」を中心として記念事業を発足させた、今後内容を練って、多数の会員に参加して頂き、盛大な式典、祝賀会を開催し、60周年を祝いたいとの決意表明があり、会場からも各期毎に参加者を集め盛会にしようではないか、との声が出るなど、記念事業への期待が盛り上がりました。

“4で、よんで、呼び合って”盛大な懇親会になりました

2004年10月31日(日)総会に続く懇親会は、近年最高の200名を超える皆さんの熱気で開幕しました。4の会は俄か仕立ての実行部隊でしたが、大串事務局長(高14期)の強烈なリーダーシップのもと、14期の紳士淑女を中心に、更に真柳氏を中心とする24期の元気部隊に支えられ、周到な準備のうえ、手ぐすねひいて、本番を待ちました。

まず出来るだけ多くの仲間に集まってもらうため、4の各期が同期の仲間に強烈に呼びかけ、前述のとおり、近年最高の参加者数となりました。

大好評！手づくり豚汁サービス

魅力的なパーティとするために工夫した、豊富なお料理・生ビールサービスや銘酒の品揃えの飲んべえ対策・女性むけスイーツコーナーの設置・手づくり豚汁サービスなど、とても好評で、皆さんのにぎやかな歓談を一層楽しいものにすることが出来たと思っております。アトラクションのビンゴは約半数の方々に商品が当たるということで、盛り上がっていました。

特筆すべきは現役在校生によるブラスバンド演奏会。とてもメリハリがきいて力強く、あるいは美しく、すばらしい出来栄えで、立錐の余地もない程集まった聴衆に強い感動を与えたと思います。私自身も感激してしまって、指揮者の女子生徒さんと握手をしてしまい、皆さんのヒンシュクを買ってしまいました。

ピュアな在校生ブラスバンド演奏会

最後にブラスバンド演奏つきで校歌・校友の歌を唄いながら大泉時代の若き日々をなつかしく想いつつ閉会となりました。

4の会のメンバーの創意工夫と奉仕活動で経費も節約出来たし、閉会後のごみ処理もきわめて手際よく、整然と原状回復し、チームワークはすばらしかったと自画自賛しています。今年の60周年記念の総会・懇親会の更なる盛会を祈ります。

4の会会長　比嘉　高（高4期）

文化祭報告

平成16年9月19日(日)・20日(月)の両日、大泉高校の文化祭が開催されました。

会場はいずみ会でお借りしているいずみの広場を開放し、いずみ会文庫に所蔵されている元教職員や卒業生の著書約150冊を展示しました。(応援の理事で新たに寄贈された30冊に、ビニールカバーをかけ追加展示)

今回はオリンピック・ローマ、東京の2大会に水球のゴールキーパーとして出場された加藤峰雄さん（高4期）を新聞記事と写真でご紹介いたしました。

今年は天気に恵まれ、例年の倍近い450名ほどの来場があり、開始から途切れることなく常時満杯の状況でした。

特に入学前の学校見学を兼ねた親子づれが多く、展示してある戦時中の学校風景から現在に至る写真・パネルを、興味深くご覧になっておりました。広場の前はお茶のお点前、箏曲の演奏と純和風の雰囲気で、来場された方々を楽しませてくれました。

いずみ会は多士済々・人材が最大の資源です。ぜひ皆様の著作を後輩のために母校に頂けませんか。また、思い出の写真、品物をお貸しください。コピーしてお返しいたします。そして皆さんに、後輩に直接お話をして頂く機会を検討しております。

来年はぜひ、文化祭にお越しください。ゆっくりお話しませんか。

総務企画部長　大高　光蔵（高13期）

平成16年度 新入会員入会式報告

いずみ会は、新卒業生全員を会員として迎え、毎年3月、卒業式前日の式の予行日に、「入会式」を行っています。昨年度卒業生（高57期）に対しては、平成16年の12月に、入会に際しての全員の会員登録を行い、入会金の納入を依頼しました。

それは、東京都教育庁から学校長にあて「同窓会の入会については、個々に入会意思を確認することが望ましい」との通達があり、また入会金についても、学校側が集めて一括して入金することは差控えたいとの見解があって、昨年度から、いずみ会が新入会員に直接通知して、入会の登録と、入会金の振込みを依頼することとなったからです。12月末時点で入会金の振込みは少なく、校長先生のアドバイスもあり、1月15日、ＰＴＡの理事会に役員7名が出席し、いずみ会活動の概要を説明し、入会金納入の協力を要請しました。

その結果、3月10日までの入会金納入率は62%となり、前年に比べ良好ではありましたが、前年のように、入会式では未納者への再依頼を行い、卒業式当日に納付を受け付けようということとなりました。

平成17年3月14日、母校体育館3階アリーナで開催された入会式では、卒業生は全員が同窓生であり、いずみ会員として歓迎すると宣言し、記念に「2000年名簿」を全員に贈呈するとともに、納入者には追加新名簿（高54～57期分）を、未納者には卒業式当日の入会金納入案内を配布しました。翌15日、卒業式当日は、正面玄関受付横にいずみ会のデスクを設け、30人余りの入会金を受理し、追加新名簿を渡しました。これにより、入会金の納付率は74%となり、引き続き納入を要請していくこととしています。

■高校57期　幹事一覧（敬称略）

(1組)	高畑　こと美	塚本　博之
(2組)	荒井　洋太	河野　由紀
(3組)	大場　輝彦	御厨　萌
(4組)	井本　隆太	杉本　友香
(5組)	三鍋　淳	渡辺　紗苗
(6組)	遠藤　和真	田中　千尋
(7組)	加藤　貴之	田中　菜々

同窓会の60周年を祝して

第17代校長
藤井文雄

大泉高校の同窓会の60周年記念行事が11月26日(土)に本校で実施されることになりました。是非、多くの同窓生に母校に来られますようお願い申し上げます。

I　本校の近況について

(昨年度の学校経営報告から)

①一般入試(1.6倍) 推薦入試(4.3倍)

②文化祭の来校者

《9/19(2115人)9/20(2236人)合計(4351人)》

③部活動加入率

《1年(103%)2年(108%)3年(94%)全体(102%)》

④進路決定率

《4大(53.2%)短大(2.1%)専門学校(4.6%)就職(0.7%)》

II　中高一貫について

本校は、平成22年度から、中高一貫校として新たなスタートを切ります。現在までに決定していることは、全体で24学級の規模になることと、本校の敷地内にできることです。中高一貫校としては、小石川高校の4学級×6年の中等教育型と、両国高校の3学級×6年+高校2学級×3年の併設型があります。来年度に基本計画を検討し、設置の基本的枠組・学校像・教育理念・教育課程など大枠を決定します。本校の伝統を継承しつつ、地域や同窓会の期待に応えられるよう、努力していく所存ですので、ご理解とご協力をお願い致します。

金賞を受賞

東京都アンサンブルコンテスト(1月)　受賞したアンサンブルのメンバー

金賞を受賞したとき、それまで味わったことのない感覚を覚えました。それは「金賞」ということよりも「このメンバーで金賞!」という気持です。アンサンブルは少人数のため気持ちを合わせるという点ではやりやすいですが、ボロが出やすく、個人の技量がより重要になってきます。その点、このメンバーは普段から人一倍練習をして誰よりも熱心な部員達でした。しかし、皆部活の仕事で忙しく、アンサンブルも部全体としてやっている活動ではないため、なかなかまとまった時間がとれず、大変苦労致しました。そんな中、メンバーの精神力とOBの協力もあり、本番へ向けて段々と仕上げていくことができました。昨年度は銀賞で、自分達の未熟さを思い知らされました。やはり「今年こそ」という思いが強かったのだと思います。本番では緊張の為か、各々ミスが目立ちましたが、まとまった演奏ができました。都代表は逃したものの、金賞を受賞できたことに、このメンバーで演奏できたことに、心から感謝しています。この受賞が、皆様に我々吹奏楽部の活動をより深く知っていただく、又、今後の部の発展のきっかけになれば嬉しく思います。　吹奏楽部　中村　大樹　3年

平成17年度学校年間行事

4月7日・入学式
4月12日・新入生歓迎会
5月10日・体育祭
6月　・学校運営連絡協議会
7月12日・芸術鑑賞会(3年)
8月　・夏季合宿
9月18日～19日・文化祭
10月8日・授業公開、学校説明会
10月14日・開校記念日
10月　・進路講演会(2年)
10月　・避難訓練
11月5日・授業公開、学校説明会
11月　・学校運営連絡協議会
11月　・生徒会役員選挙
12月　・進路講演会(1年)

平成18年

1月17日～20日・HR合宿(2年)
1月21日～22日・センター試験
2月　・生徒総会
3月13日・いずみ会入会式(高58期)
3月14日・卒業式
3月24日・修了式

教職員人事異動

「転出・退職」　( )内は転出先等

副校長　奈良　隆(七生養護)
国　語　川島裕子(退職)
地　歴　横倉　絢(退職)
数　学　上内　進(杉並高校)
英　語　磯　満(東村山高校)
英　語　山本美園(小山台高校)
嘱　託　岡本ゆり子(退職)
数　学　山崎　悟(目黒高校)
保　体　梅原惟司(向丘高校)
事　務　岸　正人(選挙管理委員会事務局)
事　務　寺澤明子(退職)
事　務　井部光雄(退職)

「転入」　( )内は前任校等

副校長　佐久間曜一(工芸高校)
地　歴　林　利雄(板橋高校)
数　学　山下康弘(人事部職員課)
英　語　柳田千穂(一橋高校)
英　語　佐藤　実(武蔵高校)
情　報　田崎丈晴(埼玉栄東高校)
数　学　中島清治(小石川工業高校)
保　体　緒方　崇(田柄高校)
事　務　菊池　恵(主税局)
事　務　中島弘隆(三宅高校)

進路状況　(浪人生を含む)

「国公立大学」

筑波2、千葉3、埼玉7、東京学芸2、東京工業1、東京農工2、東京海洋1、一橋2、電気通信1、新潟1、茨城1、信州1、愛媛1、香川1、鹿児島1、琉球1、鹿屋体育1、首都東京8、石川県立1、埼玉県立1、兵庫県立1、　合計40名

「私立大学」

青山学院14、麻布1、亜細亜5、大正1、学習院8、学習院女子3、神奈川3、関西1、北里5、共立女子1、杏林1、慶応義塾5、工学院6、国学院4、国際医療福祉3、国際基督教3、駒沢10、芝浦工業7、上智12、昭和女子3、昭和薬科1、女子栄養1、白百合女子2、順天堂2、成蹊22、成城2、聖心女子2、聖路加看護1、城西国際1、専修7、創価6、大東文化4、玉川5、中央31、帝京4、東海4、東京家政3、東京経済2、東京国際1、東京慈恵会医科2、東京女子9、東京造形1、東京電機7、東京農業5、東京理科23、東邦2、東洋26、独協7、日本34、日本社会事業5、日本獣医畜産2、日本女子11、日本女子体育4、文教5、法政38、武蔵17、武蔵工業3、武蔵野6、武蔵野美術4、明治43、明治学院15、明治薬科5、目白1、立教35、立命館1、早稲田39、その他21　合計568名

「短期大学」

青山学院女子2、女子美1、東京家政3、東京農業1、立教学院1、その他2　合計10名

「就職」　2名

恩師近況

高林　利夫 先生

数学　1975～1989

かって大泉に勤めたことのある教職員の旧交をあたためる会が1年おきに開かれる。その最後に決まって「校友の歌」を合唱してお開きとなる。大泉を去って15年経つが、この歌を唄うと当時にタイムスリップして懐かしい大泉時代に引き戻される。

大泉の良さは、校友の歌の歌詞にあるように大らかな自主創造の校風にある。この校風に満ちた伝統校で、一教員として校務分掌、教科指導、特別活動に存分に打ち込めたことを幸せに思う。議論が白熱化し、続きを駅周辺の酒席に移したこともしばしばであった。

現在私学に勤めていて、教育観や実践の手法を陳べる機会が多いが、培った場の大半は大泉である。大泉への感謝と同校の旧職員であることに誇りを持っている。

大石　清司 先生

国語　1974～1987

大泉の皆さん、お久しぶりです。私は11年前から浜松市の近郊に居住しております。周囲には茶畑や蜜柑畑があり、穏やかな山並みも眺められて気分良く暮らしています。大泉高校の思い出は何といっても体育祭のマスコット造りです。短時日のうちにあんな大きな、造形的にも優れたものを造り上げる「若人の力」に感嘆したものです。

私は老境に入り、これからの生活は何かと困難に出遭う事になりますが、キリスト教の一グループの小冊子と出会い、その創始者の手島郁郎氏（故人）の信仰の記事に胸を打たれ、この頃はキリストへの信仰を杖として、乗り越えていこうと考えています。それではお元気で…

荒井　徹夫 先生

理科　1968～1992

大泉高を去ってはや13年となる今、過ぎ去った日々は全て老いの生活に埋没し、想い出の中に浸ることもなく過ごしてきました。こたび思いがけず同窓会の幹事の方からの一文の依頼を受け平凡な日々の繰り返しの中、急に過去へ引き戻された思いです。教師生活のうちの23年間を大泉で過ごし、定年を迎えたわけで全てに愛着を覚えるしだい。

今は2人の子のそれぞれの孫の計5人に恵まれ、自称、好好爺に徹しおるしだいです。時には椅子に座すと4人が膝の上にひしめき、1人は背中にまつわりつくという至福の刻を過ごしています。在職中にご一緒した先生方とは今でも付き合いを持って下され感謝をしています。

高橋　由美 先生

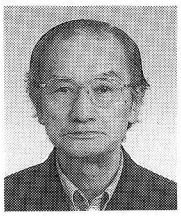
英語　1991～2000

大泉で過ごした10年の間に、教師という職業に対する違和感が消え、「この職業選択で間違っていなかった！」という安堵感が湧き起こってきました。それまであやふやだった、「高校生に英語を教えること」のノウハウを、英語科の先輩同僚たちから学んだことが大きかったし（特に思い出深いのは佐藤克子先生です）、大泉ののんびりした校風が私には居心地がよかったのです。

大泉で得た心の安定（教師としての自信）は大泉を去った今も続いています。現在は東村山高校におりますが、"Today is another happy day." という気分の毎日です。まさに、"Oizumi has made me what I am." です。大泉での生活は私の人生でのビッグイベントだったのです。

三戸　孝 先生

社会　1951～1961



昨年喜寿を迎えました。最近は月に数回歴史の講義をするほか、大学の同期会の世話をしたり、クラブテニスを楽しんだりしています。私がはじめて大泉高校の教壇に立ったのは、講和条約調印の年でした。まだ校舎は粗末なもんでしたが、伸び伸びとした校風や、緑に囲まれた広いグランドなど、若者が青春を謳歌するには恰好の舞台であったと思います。活気に充ちた体育祭のこと、放課後の職員室で、上級生の大人びた連中と時局を論じ合ったことなど、みな懐かしく思われます。その頃に比べて著しい成長を遂げた日本ですが、今、経済でも外交でも新たに難題を抱えているように思われます。「いずみ会」の皆さんの一層のご活躍を期待しています。

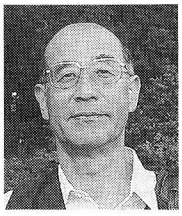
永嶋　正俊 先生

保健体育　1953～1962

74歳になりました。大泉の9年が42年の教員生活の原点だった。当時の大泉は都立高校のTop Ten入りを目指し教員も生徒も燃えていた。自由で自己規律を旨とする校風は好きだった。職員会議を休んでのサッカー部の指導が黙認された時代。サッカー部OBを含むOB・OGの活躍、喜びである。担任をしたクラス会や同期会等に出席して懐旧に浸り、活躍ぶりに接することは教師冥利に尽きる。マイナーからビッグスポーツになったサッカーに関わってこられたことに感謝している。サッカー国際審判員12年（1979年に国際サッカー連盟から日本で3人目の国際審判特別賞受賞）。(財)日本サッカー協会理事を経て現在は参与。いずみ会の更なる発展を念じます。

北上　俊人 先生

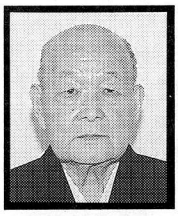
国語　1997～2002



昨年ちょっと体調を崩しましたが、現在は健康になりました。時々、演奏会・オペラ・バレエ・演劇などの鑑賞に出かけたりしています。

さて、私が母校大泉高校に勤務することができたのは実に幸せなことでした。現代の生徒諸君の学校生活ぶりは、40年前と較べてずっと開放的で明るく、学校への信頼の中で積極的に自己を確立して行こうとする様子が感じられて嬉しくなりました。いずみ会の会合ではこのような後輩諸君の姿を伝え、また教師としては、先輩方が建設的にいずみ会の運営に尽力していることを話しました。社会情勢の変化に対しても明確な意見を持って静かに語りかけ、聞き手の側もそれに対して爽やかな合唱で応じたあの卒業式の光景が蘇ります。

追悼



―― 略 歴 ――
志賀一朗先生
平成16年12月15日没
享年89歳
昭和27年～38年在勤
国語科

平成16年10月の同期会にご欠席だった志賀先生は、12月15日早朝、この世を旅立たれました。

志賀一朗先生は、昭和27年から昭和38年まで、国語・漢文を指導され、高6期・9期・13期の担任や生徒会の顧問として、生意気盛りの生徒たちと四つに組まれたエピソードも数々ありました。

志賀先生の口癖は、「初心忘るべからず」でしたが、先生ご自身が「初心」を追及された方だったと思われます。

大泉高から都立板橋高校長、国士舘大教授としての多忙な日々、中国思想史研究を続行され、王陽明に影響を与えた、湛甘泉の軌跡を明らかにされました。（『湛甘泉と王陽明の関係』・『老子真解』）。

また、湯島聖堂朗詠会の会長職を長く勤められた志賀先生は、すでに私たちの時から詩吟の名人でした。授業時間を割いて詠われた「長恨歌」や、卒業時の「陽関三畳」など、朗々たるお声が耳に残っています。

（高9期　大軒史子）

緑蔭　はじめの一歩

変幻自在の「社会部」活動

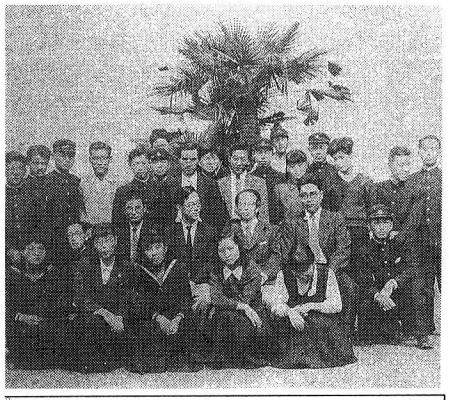
東山　義輝（高6期）

入学の1年前に朝鮮戦争が始まり、警察予備隊(後の自衛隊)、レッドパージと民主教育の申し子のように育った僕にはまさに逆コースの世情でした。入学直後から「わだつみ新聞」(日本戦没学生記念会機関紙)の普及とストックフォルムアピール（原爆禁止)、全面講和推進署名ともっぱら一人で駆け廻り周囲からは変わった奴の目で。

さて当時の社会部というのは部長もいない実態のない部でした。前述の1年の間の人脈で2年生の時（'52年）作られたサークルです。「社会科学研究」では認められず「一般社会」班と教科書を表向きにしただけで、生徒会からも自立した立場で読書会(「社会思想史」大河内一男）を中心に見聞を広めるというものでした。

これが注目されたのは、3年生の'53年10月学校祭の展示会（2年振りの）での「基地展」です。前年の条約発効による「独立国日本」の実態を基地を通して考える視点で手分けした班員と、所沢、立川基地周辺の聞き取り調査や新聞社廻りで得た、紙面に使えなかった貴重な写真の展示でした。

その後も運動会での君が代斉唱是非の問題提起やら松川事件を究明する会とか、学校側からはイブカシゲな存在でした。昨今、憲法九条が声高に邪魔扱いの半世紀の変貌。子供心に直感していた事がそれ程外れていなかったとの思いしきりです。

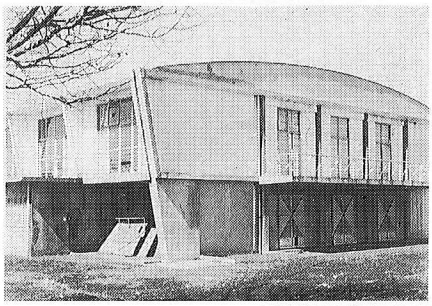


剣道界復活と創部

池田　宗弘（高10期）

1945年8月以降、敗戦国日本の全ての武道は禁じられました。1952年関係者の念願が叶い復活しました。この年、中学1年となった私は古武道の剣術小野派一刀流の清野武治先生に教えを受け始め、今も稽古を続けています。1955年大泉高校に入学したものの剣道部はなく、練馬警察署の道場で稽古をしていた練馬剣友会に入会することを考えていました。5月29日に校門近くの草の上で2、3人の人が剣道の練習をしていたのに気がつき、その場で私も仲間に入れてもらうことにしました。皆も2年生で小川忠夫さん、市木健一郎さん、佐々木正さんの剣道クラブの人たちでした。

翌日の30日には予定通りに練馬剣友会にも入会し、後日小川さんや佐々木さんも入りました。1年生の希望者を募集したところ、氏家徹、奥野正晴、大和英夫、八尋宣典の4君が新たに参加。同年11月13日の体育館の落成後は、外だった稽古は屋内になり雨天でも休まず汗を流せる様になりました。次の年、部として承認され、予算で5組の防具を初めて購入しました。1956年第11回国体高校剣道都予選に団体で参加、2回戦で決勝に進出した立正と当たり、敗れました。大泉高校最初の公式戦です。



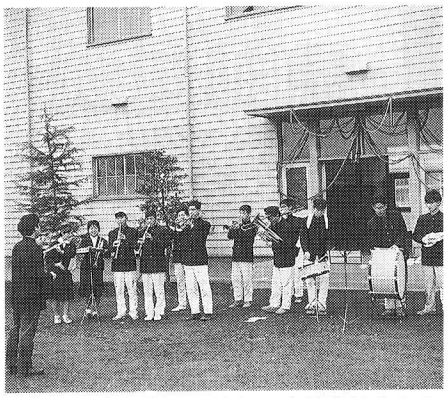
「初めの一歩」ビラ貼り1期生

正垣　教義（高15期）

昭和36年3月某日。受験勉強からやっと解放された私は、高校の部活に胸を躍らせ、入学手続き窓口でブラバンの存在を問うと、「そんなもんは無いから、お前たちで作ったらどうだ」のつれない一言。すぐ創部に取り掛かる勇気はなく、しかし、ブラバンへの想いも断ちがたく、1年の3学期だったか、ビラ貼りで同好者を募ると、1～2年の6名程が呼応して出発した様に記憶している。

唯、個人持ちの楽器は主力の岡林誠士君のトランペットだけ。そこで、彼と2人で荻窪高校の知人を訪ね、そこの楽器を借りて練習したり、出身中学へ出向き、楽器と楽譜の借用交渉や後輩たちに大泉（ブラバン同好会）への勧誘などの準備にのみ終り、本格的な活動は2年になってからのこと。

当面の目標は、5月の体育祭で「君が代」と「得賞歌」を演奏すること。新入生3名に加え、音を聞きつけた3名と生徒会からの助っ人3名の総勢15名程で、初の演奏に漕ぎつけたのです（写真はその時の練習風景)。翌年には新入生7名を確保し、秋の文化祭で初ステージを踏む大躍進。一方で、生徒会の南雲治嘉君の尽力により正式な部としての承認を、3年目にして得たのでした。



❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖

☆毎年春に行われる演奏会に坊主頭の一団の姿があることをご存知でしたか？1977年頃から、野球の試合の応援にブラスバンド部が行くようになり、その機会が増す毎に、両部の親密度も上がったのか、野球部員から「今度はこの曲やってよ！」とリクエストもかかるようになりました。それに応えているうちに「お返しに演奏会を聴きに行こう」と野球部全体で応援にきてくれるようになったとか。ちょうど1988年(？)の西東京大会で好成績を残した頃からのことです。ちなみに文化祭のマーチングもこの頃始まりました。始めは衣装等を他校から拝借していました。

創刊号！

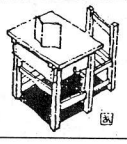
ひょんなことから「会報いずみ」の創刊号を目にする機会に恵まれました。創刊号はB4の表裏2面で、昭和29年5月20日の発行です。1面には定期総会の案内・運営方針・同窓会への期待・体育館建設基金の募集・校歌の譜などが掲載されています。

編集後記に“何事も最初が辛いという如く本会報もご多分に漏れず”・“大泉には体育館も講堂もない。皮肉なことに同学区内の学校はそれらをすでに完成している。しかし設備より何より大切なものは人間としての完成である”とありました。

当時のことご存知の方、ご一報ください。

（広報部）

同期会だより



高9期　会話こそ一番の楽しみ

小久保　堯史

高9期（昭和32年卒）は365名で、物故者は現在34名です。

昨年10月10日に3年ぶりの同期会を新宿三井クラブで開催、同期生90名と森谷・高橋・堤の諸先生にご出席いただきました。（当日接近中の台風は幸いに回避）

今回の同期会パーティは“皆で楽しめる内容で安くやろう”を目標に準備しました。会費8千円（これまでの最低）、高級ホテルを凌駕する？おいしい料理、たっぷりの懇談で充分ご満足いただけたと思います。

同期会の楽しみの原点は仲間うちのおしゃべりでしょう。いろいろと準備したイベントを最終的には割愛し、講話、合唱などに絞ったシンプルな形が良かったかと思います。

約3時間のパーティを大いに楽しんで、次回（3年後？）の幹事団を選出して散会しました。次回も楽しくやりましょう。

なお、案内返信葉書を利用したアンケート調査で、高校時代の思い出のトップは、運動会（特にファイヤーストーム）、現在の楽しみのトップは各種スポーツで、次が旅行。現在の苦労や心配のトップは健康に関する悩みでした。集計結果は会場に掲示し、懇談の共通話題の1つとさせて頂きました。ご協力に感謝します。

高10期　新宿超高層の夜は更けて

齋藤　鴻志

10月18日、2年ぶりの同期会を新宿西口聘珍楼で開催した。入学以来半世紀50年節目の会である。

いつもながら、お若くて元気な宇高・中山・永嶋の諸先生と同期生71名が、54階からの新宿夜景を楽しみながら、心ゆくまで懇談した。料理も景色も申し分ないということで、挨拶、式次第は極力簡略化して、時間の許す限りよく食べ、飲み、旧交を温めようと企画した幹事会の趣旨は充分生かされたと思われる。

また、例年は3年時のクラス分けでテーブルに着くのだが、今回は趣向を変えて最初は2年時のクラス毎に集合した。「何だ、同じクラスだったのか」とか戸惑いもあったりして、新たな出会いにまた盛り上がった。これも中山先生が3年間の生徒名簿をおもちになっていたおかげで、幹事一同、さすがと感心した次第。

今回は、初めて平日開催にトライしてみた。そのせいか、例年に比べ参加者が少なかったのは残念だったが、まだ現役活躍組も少なくないのだという心強さのようなものも感じたりしている。

高15期　僕たちは笑顔を残した

速水　洋志

15期の卒業生は、今年の3月をもって全員還暦（満60歳）を迎え、いろいろな面で余裕が出てきたこともあり、ここ数年、各種活動が盛んになってきています。

同期会は2年に一度定期的に行っていますが、特に、昨年は、平成16年11月6日、アルカディア市ヶ谷において「還暦を祝う会」と銘打って、恩師の先生を含めて約100名の参加のもと、盛大に行いました。赤い手拭と漆の枡を記念に配ると共に、「60年、生きてきた証として僕たちはここに笑顔を残した」の表題の文集を作成しました。

そのほかにも下記のような活動を定期的に行っています。

- 大泉遊歩会（ハイキング同好会）
- ゴルフ同好会（年3回程度のコンペ）
- 恵子の歌の会（萩原恵子シャンソン歌手後援会）

2004.11.6　都立大泉高校15期・還暦を祝う会　於 アルカディア市ヶ谷

- 高橋直子お芝居の会（劇団「テアトルエコー」）
- ホームページアドレス：http://prairie.jp
- 掲示板アドレス：http://6239.teacup.com/prairie/bbs2

他の期の方も一緒に参加しませんか？

高20期　司会も地震も踏み越えて

小林　憲一

平成16年10月23日、20期の同期会を池袋のメトロポリタンホテルで開催しました。40歳を機に始まり、5年毎の開催で、今回が第4回です。

当日は、清水、小山、小田切の各先生にもご出席いただき、76名の55歳が集まりました。型どおり「開会の挨拶」で始まり、各先生のご挨拶を聞くまでは同期会の体をなしていたこの会ですが、以降は誰が何を喋ろうと、ビートルズメドレーの生演奏が行われようがおかまいなし。話の花がそこかしこに咲き乱れ状態でした。幹事の半年に渡る打ち合わせは何だったのか。

しかし、考えてみればこの場は、楽しかった高校生活を振り返るとともに、健康や老後などを話し合う絶好の機会です。みんな夢中になるのも無理はありません。話は合うはずですよ、なぜか同い年だし。

バラバラだった76名が校友の歌をひとつになって歌い、5cmウエストがのびても、5本しわが増えても、5年後に元気に再会することを願って散会しました。

なお、すし詰め状態の二次会の最中に大きな地震がありました。あの「新潟県中越地震」です。それでも少しも騒がなかったのはさすが大物ぞろいの20期。まあ、酔っ払ってたのと、すし詰めで動けなかったということもあるけど。

高21期　卒業35年、青春は今も続く

浜田　光

第10回高校21期同期会を2004年11月27日（土）に椿山荘にて、金尾、荻野、田上先生をお迎えし、恩師を含む90名の参加を得て開催し、盛会のうちに終了いたしました。卒業後35年初めて参加する方、長期間不参加だった方も多数おり、会場のあちらこちらで再会の歓声が上がり、幹事冥利につきる一日でした。遠くから、駆け付けてくださった方、主婦再就職で海外留学した方な

どの話も聞け、時の経つのを忘れていました。卒業後30年を経て、高校時代に組んだバンドのメンバーを中心に再結成した、私も参加しているバンド「ブラザース&シスターズ」がベンチャーズ、ビートルズナンバー他を演奏させていただきました。のった学友が飛び入りで唄ってくれるなど、楽しく演奏する機会を与えてくれた皆様に深く感謝しております。二次会は大泉高校の一年先輩の方が経営しているお店原宿「クリスティ」に50名以上で繰り出し、おっかなかった恩師と一緒に青春時代の歌を唄うなど大盛況。そして三次会へと更に親交を深めたのでした。また、やりましょう皆さん！

幹事：植村、守本、片柳(石山)、森(松田)、田邊、岩城、浜田

高11期 小江戸川越発見のたび

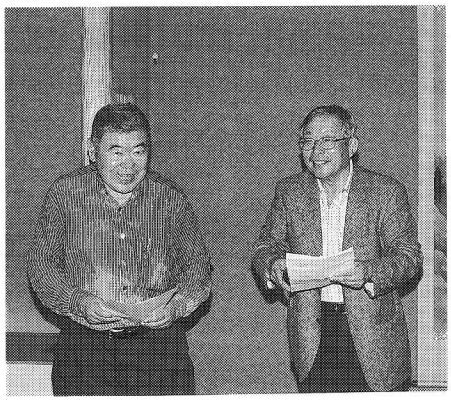
加藤　勇

6月11日(土)ゲストに堤先生、尾造先生、菊谷先輩、2夫人を交え36名が参加し、22回目の11期カルチャートークを行いました。11期では、1990年（50歳）から同期生がスピーカーになって、その人の仕事や趣味などに関する話を聞く会を催しています。今回はアウティングで川越の街を散策しながらの会となりました。

川越は、江戸時代に知恵伊豆・松平信綱によって、明暦の大火後の街復興計画がなされ、職業別に住み分けがされていました。その名残として街のシンボル『時の鐘』近くは旧多賀町（桶の箍に由来）といい、今でも数件の桶やさんが残っているようです。

喜多院から始まった散策はまず、本堂で真田さんの解説を聞き、寺内、五百羅漢、川越城址、市役所横の太田道灌像と進み、昼食をとりながら、丸山さんが七福神・羅漢・観音霊場の話。川越城を始め、江戸城、岩槻城を造り、首都圏に8つも銅像のある太田道灌の魅力等を加藤が話しました。

トーク終了後、時の鐘、蔵造の街一番街、菓子屋横丁など三々五々散策し、好奇心を掻き立てる魅力に満ちた川越の街を満喫しました。



高32期 今だから話せるエピソード

鑓田　政信

私たち高校32期は、2004年8月29日に新宿のモノリス29において、懐かしい恩師の皆様をお迎えして、1年半ぶりに同期会を開催しました。

出席者は、前回の同期会からあまり日が経っていないこともあり、32名と少人数ではあったものの、来賓として滝沢先生・田中先生・中川先生・田村先生にご出席を賜り、非常に活気のある集いとなりました。

当日は、滝沢先生にご挨拶を頂いた後に江口乃一郎君の乾杯で談笑に入りましたが、9年半ぶりに開催した前回の同期会では、準備不足により先生方にお声を掛けることができなかったため、久しぶりにお会いする各先生を中心として近況報告に花を咲かす光景があちらこちらで見受けられました。

その後、先生方から臨海学校や大島でのホームルーム合宿、体育祭や鎌倉への遠足に関する「今だから話せる」エピソードをご披露いただくなど大いに盛り上がり、予定されていた2時間はあっという間に過ぎてしまいました。

最後に、今回連絡がつかなかった同期の住所確認に向けた幹事からのお願いと次回の再会を期する左右田有樹君の中締めで、楽しい会はお開きとなりました。

高24期 一区切りの同期会

真柳　仁

2004年10月31日は私たち24期にとっては特別の日となりました。12年前の第1回以来、4年毎（オリンピックの開催年）に開催してきた同期会を、今回をもってしばらく休むということになったからです。そこで、日程も「いずみ会総会」の日に設定し、「4の会」として総会に参加した後、大泉学園で同期会を行うことにしました。コピーも『最近、母校へ、大泉学園に行ったことがありますか？』です。これは平成22年から、大泉高校は違う体制の学校に生まれ変わりますので、母校をしっかり見ておこうという意味もありました。

さて当日は、総会にも我が24期は20人以上の参加があり、女性陣の作った「豚汁」の評判も上々でした。総会終了後、大泉学園駅前の居酒屋をほぼ借り切り同期会に移りました。約60名の参加でしたが、4年ぶりの顔、今回が初めての顔もあり、予定の2時間はあっという間に過ぎてしまいました。その後、大泉学園駅のロータリー上を占拠して撮ったのがこの写真です。そして、ほとんど人数が減ることなく、北口の二次会へ！次回はいつになるかは未定ですが、また必ず集まることを約束してお開きとなりました。楽しい秋の一日でした。

OB・OG会

原先生を囲む会

野球部　戸田敬久（高42期）

3月20日(日)第42期卒業生から第55期卒業生まで実に14代に亘って大泉高校野球部OBが池袋に集まりました。父母を入れると120名程度の方々が、長きに亘って教鞭をとられ、野球部の指導に情熱を注がれた原浩司先生を囲むために各地から足を運んだのでした。

凡そ1年前より計画されてきた同会は、OBによるまさに手作りの会と呼ぶのにふ

さわしく、夫々が思い出を語らい和やかで楽しい時間を原先生と過ごしました。各代が現役時代のエピソードを披露した場面では、会場に笑いが起こり当時を懐かしむ時間もしばしばでした。原先生も往年の迫力は影を潜めたものの、温かい眼差しと語り口でＯＢ一人一人を包んでくれました。

大泉高校野球部を通じて知り合った多くの仲間が久しぶりに集う有意義な時間であり、また原先生から教わった優しさや強さに誰もが久々に触れたいと思った時間でした。

あっという間に時間は過ぎ、仲間との再会を誓って原先生を慕って集まった出席者は会場を後にしました。

おたまじゃくしの会

音楽部合唱班　正垣教義（高15期）

６月18日(土)14時開催（於・原宿クリスティ)。21年ぶり４回目の親睦会に40名参集。21年の空白を埋める名前と顔の歓喜的確認儀式に押されて、司会の吉津弘一氏(高14期)は意を決して開会宣言。川田徹氏(高11期）の開会の挨拶～松尾洋氏（高13期・東京オペラプロデュース主宰）の乾杯の音頭で滑り出し、懐かしの「校歌」を歌う頃には宴もタケナワ。

軽妙な司会で爆笑の中、各期代表が仲間紹介する段、円より子氏（高17期・参議院議員)と深町純氏(高17期・作曲編曲者、ピアニスト）の冷静沈着な話術はサスガ！

突然の依頼でも快諾してくれた深町氏のピアノ即興演奏に一同真剣に聞きほれ、続く淡野（柿沢）保昌氏（高17期）のゴスペルで更に盛り上がったものの、歌う機会の少なかった「校友の歌」の斉唱はイマイチ。流麗なこの曲を何とか歌い続けたい。

司会者からの“今後は隔年に開催”との提案を了承。最後に再度「校歌」を歌い、２年後の再会を約束して散会。続く二次会も優雅な雰囲気の中にめでたく終了。

日比野弘早稲田大学教授を囲む会

大須賀　誠(高25期)

４月１日、ラグビー部ＯＢ幹事会と高校６期会は合同で、日比野弘早稲田大学教授退職を慰労する「日比野弘氏を囲む会」をホテルアジア会館（東京・赤坂）で開きました。会には約100名の出席者があり、ラグビー部関係では、歴代顧問の堤治美先生(Ｓ27年～43年)、鎌田重行先生（Ｈ８年～15年)、現顧問の尾高英樹先生、それに６期から17期までのＯＢ約30名が出席しました。

日比野弘氏は昭和29年大泉高校を卒業後、早稲田大学入学と同時にラグビー蹴球部に入部。１年生からレギュラーを獲得し日本代表やオール早稲田のウィングとして活躍しました。昭和45年早稲田ラグビー部監督に就任し、大学選手権のみならず日本選手権をも制覇しました。カリスマ的要素を持つ不思議な魔力は恩師の故大西鉄之祐早稲田大学名誉教授譲りといわれています。現在は2011年ラグビーワールドカップ日本招致委員長として活躍されております。

北の大地から～お久しぶりで

札幌いずみ会　友岡和彦（高23期）

昨年11月20日札幌いずみ会を京王プラザホテル札幌において開催いたしました。当日は22名が参加し、久しぶりに再会された方や昔話に花が咲き、楽しいひと時があっという間に過ぎてしまいました。

札幌いずみ会は、大泉で漢文の教鞭を執られていた近藤光男先生が北大在勤中に同窓生と始められたのが最初と聞き及んでいます。今回は、岩隈先輩（高３期）が「国境なき医師団」に参加されるのを機に、壮行会を兼ねたいずみ会を開催しようとの話が持ち上がり、久しぶりの開催となりました。札幌では新宿高校が同窓会を開催していますが、全国的にもこのような同窓会は珍しいのではないでしょうか。

当日は年代順に想い出話や近況の報告を行い、最後に全員で何十年ぶりかの校歌を歌いました。

これからは年に一度は開催しようということとなりましたので、今回出席できなかった方や北海道に転居された方も次回は参加をお待ちしています。

お知らせ

■高８期同期会
日時：2006年（Ｈ18年）4月22日(土)
場所：東武バンケットホール（池袋）
連絡先：宇田川　公子

■中１期　喜寿の会
2005年11月26日(土)15:30～
練馬区立勤労福祉会館内「味三昧」

■ＯＢ・ＯＧ合唱団　合唱の夕べ
2005年11月24日(木)18:00
ゆめりあホール（大泉学園駅北口）

■野球部関係者の皆様へ
2005年11月26日 60周年の会に集合!!
連絡先：宇山　秀明（高20期）

会員訃報（敬称略）

心よりご冥福をお祈りいたします。

中１期	小堀　昇治	平成15年２月21日
中２期	高橋　達児	平成15年３月
高３期	安藤　靖	平成16年10月22日
高３期	鴻田　一章	平成17年２月14日
高３期	杉浦　康彦	平成16年３月７日
高３期	原田　裕至	平成16年10月10日
高３期	諏訪　忠一	平成17年５月２日
高４期	井本　照	平成16年12月
高４期	石丸　健二	平成17年２月23日
高６期	岸　一彦	平成16年10月19日
高６期	北村　宗光	平成16年11月19日
高６期	富永　英夫	平成16年３月７日
高７期	川島(望月)葉子	平成14年11月５日
高８期	池谷　健二	平成16年11月20日
高８期	井上　修平	平成17年１月15日
高８期	野中　英紀	平成13年６月29日
高９期	古川　晋	平成16年２月27日
高９期	相川　吉徳	平成17年３月23日
高９期	相原(星)英子	平成17年６月27日
高10期	鈴木(浦尾)惇子	平成15年12月23日
高10期	土屋　義孝	平成16年12月８日
高11期	松本　仁	平成16年１月３日
高11期	古川　真理	平成９年１月24日
高11期	佐藤　勝	平成17年３月24日
高11期	飯田　高根	平成15年６月26日
高12期	小林　一三	平成12年11月24日
高12期	竹口(平塚)裕子	平成16年12月25日
高13期	藤原(松井)英子	平成17年７月６日
高15期	中村　一弘	平成10年11月30日
高15期	安達　靖之	平成17年３月５日
高19期	鈴木　俊一	平成16年５月１日
高21期	皆藤(石川)薫	平成17年８月13日
高22期	正木　哲雄	平成16年２月25日
高23期	和田　恵	平成13年
高28期	後藤　薫	平成15年12月25日
高28期	橋爪(櫻井)恵子	平成16年８月28日
高31期	浦野(八橋)理佳	平成14年８月16日
高35期	久保田　邦彦	平成15年２月27日

『60周年記念名簿』発行

会員情報部長　大澤　登

本年度のいずみ会60周年記念事業として、『2005年会員名簿』を、平成18年2月頃発行することになりました。名簿は、会員相互の緊密な連絡を可能にし、いずみ会発展のためのツールです。

そして、会員の情報を守るために、種々検討し、以下のように決定しました。

○会員と新卒業生以外の第三者には配布しない。

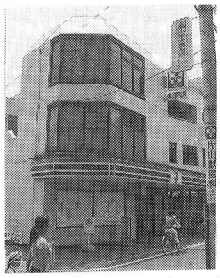
○記載事項は、名前・住所・電話のみで、他は掲載しない。

同封の、「返信葉書」で、皆様の確認をいただきます。よろしくお願いします。(4面に関連記事があります。)

会員情報部としては、名簿の精度を高める日々の努力を積み重ねて今日に至っておりますが、他に、母校といずみ会の歴史を一望する「アルバム」を作成し、また、「恩師のページ」の特集を組む予定です。

巻末には、「協賛広告」を設けました。名簿本体では記載しない、同窓生の企業の紹介や、同期の現状・同期会の予告、OBクラブの紹介等に利用して下さい。

いずみ会をリフレッシュ



今年、いずみ会は創立60周年を迎えます。この間、いずみ会は多くの人々の力で支えられてきました。

会員数も、平成16年度卒業の高校57期生を迎え2万2千名を超えました。年齢も傘寿、80歳を迎える方から、これから成人式を迎える57期生まで60歳以上の歳の開きがあります。この広い年代の会員の皆様の要望に応えられるいずみ会にするために、一人でも多く、そして幅広い年代層の会員の方が会の運営に参加し協力して下さることが必要となります。現役で働いていらっしゃる方に、いずみ会の仕事に参加して頂くのには無理があることとは思いますが、会議は夜間や休日に行うとか、Eメールを利用して通信による会議にするとかで、極力負担の軽減に努めるなどの方法も考えられると思います。

来年は、いずみ会役員の改選の年に当たりますが、これを機に会の運営を審議する役員、理事に多数の若い会員が立候補下さるよう期待しています。現在の役員は、60歳代が主流で70歳代の方も頑張っております。

また、会の運営の実務を担当する事務局幹事も人手が足りなくて苦労しています。皆様の自由になる時間の一部を、いずみ会の為に使って下さるようお願いいたします。

若い人達が多数参加して、いずみ会をリフレッシュして下さい。期待しています。

事務局長　有田二郎

❶会員の皆様へのサービス

幹事の皆さん、応援しますー

1．校歌・校友の歌
　ーテープ、MDをお貸しします一

2．名札ケース（新に吊り下げタイプも用意）をお貸しします

3．会員名簿の住所シールを差し上げます
　ー専用の申込書を提出ください一

4．いずみ会・ホームページに行事案内を掲載します

5．いずみ会報郵送時に、各期が作成したA4判までの会報やチラシを同封します

6．申込みは大高光蔵、176-0012 練馬区豊玉北4-21-18　TEL・FAX 03-3992-5529

❷いずみ会文庫

ーあなたの本を母校に寄贈してくださいー

大泉高校・図書室に（ビニール包装の上）大切に保管されます。

自著はもとより、共著、自身が研究・発表した論文等がその一部となっている雑誌なども含みます。講義用の教科書、エッセイ、体験記、写真集等おおいに結構です。

送り先は市川敬二、176-0005 練馬区旭丘1-48-4　TEL・FAX 03-3950-3705

❸いずみ会室

ー近い・無料・便利。使い放題。申込み順ー

1）大泉学園駅南口、ゆめりあ2を通って陸橋を越えればセブンイレブン、その3階がいずみ会室、便利です。駅から2分。畳み敷き、10畳ほどの広さです。お湯飲みのセット、2Lの電気ポットを用意。流し、テーブル、エアコン、トイレあり住所は178-0063 練馬区東大泉6-34-30 SKビル305号　※電話はありません。

2）同期会、囲碁の会がよく利用しております。10人程度の会合には打ってつけです。

3）申込みは理事の村井和郎宅。TEL／FAX 03-3922-8888（HP参照ください）

❹いずみの広場

ーあなたの大泉、思いで、虫干ししませんかー

1）母校の図書室前に20畳ほどの部屋をお借りしております。生徒、父母、学校との交流の場として、いずみ会創立60周年を迎え、60年の画像をファイルし、展示、保存いたします。皆様、お手持ちの新聞、写真などをコピーさせてください

2）送り先大高光蔵 176-0012 練馬区豊玉北4-21-18　TEL・FAX03-3992-5529

❺いずみ会人材バンクへの登録

ー問い合わせ・申込みは大高までー

60周年記念事業として、多士済々たるいずみ会会員の優れた能力、持ち味を登録していただき、母校の教育への寄与と会員への支援を行います。

❻いずみ会会員の声の受付は

FAX **045-561-4575**（事務局長宅）

メール **izumikai@v7.com**

郵便　いずみ会室（❸いずみ会室欄を参照）

『いずみ会室』を利用してください

平成14年、学校の管理体制の変更が通達され、母校内の円形校舎屋上にある同窓会室が従来の形での使用が出来なくなりました。翌年、校外に同窓会室の新設を進めた結果、現在の『いずみ会室』を開設することが出来ました。会の年間の活動状況は、総会、幹事総会、役員会、理事会、各部部会、各期同期会及びそれぞれの準備会等の多岐に亘っています。

このような会合のうち、十数人程度の会合には、『いずみ会室』の利用はうってつけと言えるでしょう。

《現在の使用状況》

前記各会合の定期的な使用の外、趣味のグループでの使用も増えています。ユニークなのは、9期同期会の囲碁の会です。月2回程度ですが、6～8人の迷棋士が盤を並べて、和気藹々の楽しいひとときを過ごしています。

会員相互の楽しい集いの場、これが『いずみ会室』の一番の存在なのだと思います。

利用申込は、Fax若しくはTelにて下記へ連絡下さい。多くの方の利用を待っています。

村井和郎宅　Fax or Tel　03-3922-8888

会報バックナンバー捜索中！

8面「緑蔭」のページで、いずみ会会報の創刊号に触れましたが、残念ながら、会報のバックナンバーの多くが保存されていません。資料として揃えておきたいと思いますので、特に第30号以前の号をお持ちの方、拝借させていただけませんか？広報部でコピーをさせていただきたいと思います。ご協力よろしくお願いいたします。

編集後記

■会報作りに手を染めて？から、10歳年をとった。全く使えなかったパソコンと向き合うようになった。諸先輩と仲間のおかげで、編集作業がほんの少し判るようになった。一番は10年間に電話や手紙を通じて数え切れないほどの先生方、先輩方、後輩の皆さんとお話が出来た！とても嬉しく、貴重な瞬間。会報以外では野鳥探しが大好きになり、大泉時代のバンドが復活。さらにさらに、しわ（笑い皺）と重さがとっても増えた!!　（荒井真理子）

■各方面の方々の御尽力で会員の皆様に会報をお届けできます。年1回の発行ですが、ホームページともども御愛読を。（杉山肇）

■広報部・会報班　杉山肇（高6期）、須藤一彦（高9期）、北上俊人（高11期）、奥本久治、久保田繁、森田陸四郎（以上、高15期）、荒井真理子（高20期）、植村久（高21期）、大久保靖（高29期）、仲沢浩一（高32期）、中村匡宏（高42期）

印刷所／一光印刷所　電話 03-3953-3336